

TOKYO INDOOR OPEN 2023



期 日 2023年2月18日(土)、19日(日)
会 場 駒沢オリンピック公園 屋内球技場
主 催 東京都アーチェリー協会

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします。

■受付時

マスクを着用し、入場してください。入場後、手指のアルコール消毒をしてください。
担当係が検温して体温を記入しますので体調申告書を提出してください。
体調申告書に一つでも「有」がある場合は、大会に参加できませんので、ご注意ください。
1部と4部の受付は、密になる可能性有りますので、十分間隔をあけてお並びください。

■行射中

1 マスクを外したら『黙射』を徹底してください。
行射中に審判員へのアピールが必要な場合にも手を上げて合図し、すぐにマスクを着用するか、袖口・ハンカチ等で口を覆うなどの飛沫防止対策に努めてください。
2 同立ち、チーム内でのスコープ等の共用は行わないでください。
的中位置は自身で確認し、監督・チーム内・応援等からの伝達は避けてください。

■採点時等

1 行射後視線を外れたらすぐにマスクを着用し、採点に必要な会話以外は自粛してください。
2 イアンセオ端末への入力者は専属とし、機器を交換しての入力は避けてください。
3 矢取りは、極力ご自身の矢のみを抜き取るようにお願いします。

■行射待機中、休憩時

1 競技に無関係な会話・談笑、弓具等の情報交換、チーム内での指導・指示等々を含め、会場内の選手、役員ともに自粛してください。ただし、競技進行上、安全対策上必要な会話は短時間で、距離を隔てて行ってください。
2 他の選手への応援、的中位置の伝達、残り時間のカウントダウン等を行わないでください。
3 体調維持に必要な水分補給は認めますが、選手・監督・応援者の食事はスタンドを含め会場内では認めません。医師の指示等で栄養補給が必要な場合は、事前に受付時に申し出てください。
4 行射待機中は選手間の距離を保ち、着座する椅子を確定し、行射の準備をしてください。
5 トイレ使用後の手洗い、適時の手指消毒に注意してください。

■行射終了後

1 競技終了後は選手間等での会話・談笑、競技の反省等は行わず、極力短時間での弓具の片付けに協力してください。
2 表彰式等はありませんので、記録の確定と確認作業が終わったら解散です。
表彰対象者は、賞状と入賞バッチを受け取ってからお帰りください。
その後長時間会場にとどまることは避けてください。
3 部活動等の反省、振り返り指導等が必要な場合には、会場外で行ってください。ただし、場外悪天候の場合には、別途場所を指定する場合があります。

■監督・顧問・応援(付添い)等

1 会場内の密を防ぐため、事前にIDカードの発行の申込をした、監督、コーチ、付き添いの方以外アリーナ内への入場はできません。保護者による応援等は、送迎が必要な場合を除き、極力自粛していただくようご協力をお願いします。
2 競技中(行射時)の個別の指導・指示、応援等は行わず、記録を取るようにして後刻本人に伝えるようにご協力をお願いします。

■試合終了後の体調不良【重要】

1 万が一、帰宅後に発熱・体調不良が生じ、PCR検査等で新型コロナウイルス感染が確定した場合には、所属協会、所属校を通じ、東京インドアオープン 2023 申し込み先に、参加部、立ち順、所属、氏名、性別、不織布マスクの着用についてをお知らせください。併せて、行動を共にした選手、監督等がいる場合には保健所の指示をそれぞれに伝え、適切な措置を講じてください。

公益社団法人 全日本アーチェリー連盟 理念・行動指針

理念 私たちはアーチェリーを通して、健康的で明るく、心豊かな生活を創造します。
そして、日本と世界の人々が信頼で結ばれることが、私たちの真のターゲットです。

行動指針 私たちは3つの「F」に基づいて行動します。

★ Fair play

互いを尊重し、公正かつ誠実に行動します。

★ Friendship

老若男女・ハンディキャップ・国境の壁を越えて、仲間を増やします。

★ Fighting spirit

目標に向け、日々の研鑽を惜しまず、自己を成長させます。

環境宣言

私たちはアーチェリーを楽しみ、

豊かな未来のために地球環境をより良くするよう行動します。

「来たときよりもキレイに!」

- ・みんなでスポーツの未来を考え、みんなで今の環境を大切にしよう。
- ・エネルギー・資源の節減、ごみの分別、リユースできることを考えよう。
- ・人・水・空気・土の大切さを考え、環境活動をみんなと協力して実践しよう。
- ・環境を考え、模範となり、継続的な活動を実践しよう。
- ・アスリートが良い環境で競技できるようにしよう。
- ・ルールとマナーを順守しアーチェリーを安全に楽しみ環境に貢献しよう。

安全宣言

1. 私たちは、たとえ矢をセットしていなくても、決して弓を人に向けません。
これが、アーチェリー最大のマナー常識です。
2. 私たちは、一斉矢取りを励行します。
3. 私たちは、アーチェリーに真剣に取り組めます。
4. 私たちは、ルールを守ります。
5. 私たちは、アーチェリーを自己責任のスポーツであることを理解します。
6. 私たちは、事故撲滅のため、「安全マナー」「事故防止に向けて」などの基本を守って
事故ゼロを宣言します。
7. 私たちは、指導者・管理者の注意を守ります。
8. 指導者は、先ず安全教育から始めます。
9. 指導者は、技術と共に、心豊かな人材育成を心がけます。
10. 私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し、真剣に競技して、良いアスリート・心豊かな
人になることを宣言します。

大会役員

大会委員長 松本 洋平 東京都アーチェリー協会会長
大会副委員長 保坂 真宏 東京都アーチェリー協会副会長
大会副委員長 昼間 一雄 東京都アーチェリー協会副会長
大会副委員長 近藤 均 東京都アーチェリー協会副会長

競技役員

2月18日(土) 19日(日)

競技委員長 近藤 均
総務委員長 近藤 辰夫
総務委員 成田 英司 中内 あきら
審判長 齋藤 太郎
副審判長 堀 浩一郎
審判員 磯 敏雄 祝迫 修 沼崎 美紀夫 富樫 昭一郎 齊藤 未央 鈴木 桂 有本 栄子
西崎 秀司 小林 幹祐 川上 憲二 浅見 久光 加藤 和男 沼崎 美紀夫
小林 保照 古橋 厚子 山崎 窓未

DOS 小野寺 長久
副DOS 加来 剛 小杉 理加
記録長 池澤 かおり
副記録長 松村 晃志
記録員 野村 遥 大久保 太稀 長島 大起 嶽間澤 拓輝

競技日程

2月18日(土)	開会式	競技	表彰式	定員
1部 受付 9:10～ 9:40	9:35～ 9:45	10:10～12:30	13:00～	最大90名
2部 受付 12:00～12:30		12:50～15:10	15:40～	最大90名
3部 受付 14:40～15:10		15:30～17:50	18:20～	最大90名
2月19日(日)				
4部 受付 9:10～ 9:40		10:10～12:30	13:00～	最大90名
5部 受付 12:00～12:30		12:50～15:10	15:40～	最大90名

※ 試合進行の都合で時間に変更になることがあります。

※ 1部競技開始前に開会式を、5部競技終了後に閉会式を行います。

※ 競技開始前に競技説明がありますので、準備をしてアリーナ内にお集まりください。

部門	種 別 (年齢は2022年 4 月 1 日現在)
リカーブ (RC)	小中学生： 15歳未満
ベアボウ (BB)	高 校 生： 15歳以上18未満及び高校在学中
コンパウンド (CP)	一 般： 18歳以上50歳未満 (高校在学中を除く)
	マスター： 50歳以上

競技方法

- この競技会は、全日本アーチェリー連盟競技規則(2022～2023)及び東京都アーチェリー協会競技運営安全管理規程に基づき行う。
- 18mインドアラウンド60射(30射×2回)を行射する。
- 標的面は、RC一般(男子、女子)とCP(全部門)は縦三つ目標的面を使用し、その他は、40cm標的面を使用する。
標的面は上左右/下左右(40cm標的)、左A,C,B,D(20cm縦三つ目標的)に4個設置する。
- 競技は(AB-CD)2立とし、3射毎に矢取りを行う。
1エンドの時間制限は、3射90秒とする。
◎40cm標的面の場合、A立は上段左側、B立は上段右側、C立は下段左側、D立は下段右側の標的を行射する。
◎縦三つ目標的面の場合、A立は左から1列目、B立は左から3列目、C立は左から2列目、D立は左から4列目の標的を行射する。
どちらの標的面も1標的面に1名のみが行射する。(各人の的は固定)
- 練習は、競技開始前に3射90秒を2回行う。
「AB行射、CD行射、矢取り」、「CD行射、AB行射、矢取り」
- 競技の行射順序は、「AB行射、CD行射、矢取り」、「CD行射、AB行射、矢取り」の順に循環して行う。
◎1枚の畳に標的を4枚設置する。
◎縦三つ目標的面にある3個の標的面に1射ずつ、どのような順番で行射してもよい。
左的/右的の交代はしない。

7. 用具故障による回復時間は、ありません。
8. 競技の進行は、ブザー及びデジタル時計により管理する。ただし、時間制限に関しては、ブザーの音響を優先する。
9. この競技会では、入力端末による得点集計補助システム(イアンセオ)を使用する。成績は、手書きスコアカードが基本になります。
10. 採点は、選手相互採点とする。感染症対策の特別処置としてスコアカードの記入および端末の入力担当者をそれぞれ1名に決めて、同じチーム同士で相互採点をしないこと。
11. 素点の訂正は矢を抜く前に選手相互で確認して、同的全員の選手サインをすること。サインのない素点の訂正は無効とする。
なお、三つ目標的で同一標的に2本以上の矢が的中した時は、最も低い得点の矢を記録する。
12. RC、BBは、インナー10はXと記入せず10点と記入する。
CPは、インナー10のみ10点と記入する(アウトター10は9点と記入する)。
同点時の順位は、①10点数 ②9点数の多いもので決定する。
②においても同数の場合は、同順位とする。
各部門の表彰数は、参加人数をもとに主催者が別途定める表彰規定により決定する。
各部、種別ごとに表彰バッジ、賞状の授与を行う。総合成績は後日発表する。
各部の競技終了後、確認用成績をianseo.net上に発表して異議申し立ての時間を設けます。
異議申し立て時間以降の得点に関する疑義は認めません。
13. スコアカードは、30射毎の提出となります。
14. 後半のスコアカードに前半30射の累計は引き継ぎません。

安全指導 (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則「安全規程第8章」及び
(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則第205条第19項に記載の事項の徹底

指導内容

- (1)競技開始前、審判長から「引き分け、引きもどし」「セーフティーゾーン」「矢が畳をそれた場合」について、具体的に注意喚起をします。
- (2)競技開始後は、後方審判員が「引き分け等が危険」と思われる選手に直接注意(警告)します。
それでも改善されない場合には、審判長に報告し、競技委員長と協議のうえ競技続行を禁止する場合があります。
- (3)矢が畳からそれた選手に関しては、そのエンドのうちに必ず申告させ、それた矢の所在が確認できない場合は試合の進行をストップすることもあります。全選手に対し矢取り後に、矢の本数を確認させます。
- (4)セーフティーゾーンを越える場所に矢を射った選手は、その時点でその日の試合に関しては競技続行中止を命じます。
- (5)的から矢を多く外す選手には、審判長、競技委員長と協議のうえ競技続行を中止する場合があります。
- (6)その他、安全を脅かす行為をした選手・観客等に対しては、競技委員長・DOS・審判長の判断で厳格に対処します。

■■■スコアカードの書き方■■■

1. スコアカードに射った矢の得点（素点という）を記入するときは、必ず高い得点から書きます。
2. 相互採点を行う際には、自分のスコアカードを同的の選手に渡し、自分の矢の得点を読み上げます。得点を記入する選手は、読み上げた得点間違いがないか確認し、スコアカードに丁寧に記入します。
3. 水や汗で字がにじまないように、黒色か青色の油性のボールペンを使ってください。絶対に赤色は使用しないでください。
4. 素点を誤って記入した際には、必ず矢を抜く前に訂正をしてください。矢を抜いた後では、訂正できません。
誤った点数に線を引き、余白に正しい点数を書き直してから、同的の選手全員のサイン（イニシャルでも可）を書いてください。審判員に訂正してもらっても構いません。
5. 次のような場合は、訂正が必要となります。









- ① ボールペンがかすれたため、上からなぞり書きをした。

<例> 

- ② 数字を無理やり他の数字に書き直した。

<例> 

6. 数字は丁寧に記入してください。

- 1 →  ×  7と見分けがつかない
- 7 →  ×  1と見分けがつかない
- 9 →  ×  7と見分けがつかない
- M →  × 

こすぎ 玉岡
牧内 TM

<訂正の仕方>

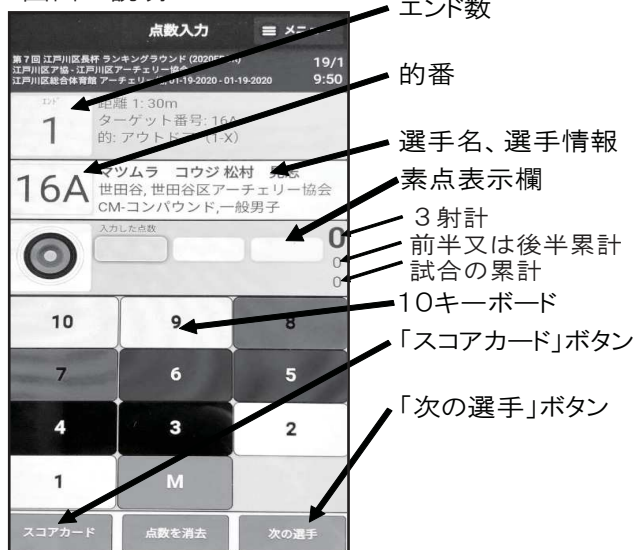
18m-1	1	2	3	小計	合計	10	9
1	10	9	8	27		1	1
2	9	9	8	25 26	53		2
3	10	9 10	9	29	82	2	1

合計点（小計点）の訂正サインは必要ありません。

7. 30射終了毎に、競技者サイン、記録者サイン、合計点、10点本数、9点本数などの項目をすべて記入します。提出前に必ず合計点の間違いがないか確認してください。故意に高い点数を記入したり、点数の書き換えを行った場合は、失格となることもあります。

■■■入力端末の使用方法■■■

画面の説明



エンドスコアの表示

End Summary				
的番	選手名	エンド	距離	累計
		小計	合計	得点
8A	マツムラ コウジ 松村...	57	235	235
8B	シノハラ タケル 篠原...	59	237	237
8C	マキウチ ミドリ 牧内...	51	191	191
8D	ダイヤモンド ケイゴ 大門...	56	229	229

1. 素点表示欄に点数を入力する為に、10 キーボードをタップする。
2. 3射(6射) 入力後、右下の「次の選手」ボタンをタップ。
3. 次の選手の当該エンドの点数を入力し、「次の選手」ボタンをタップ。
4. 各エンドの同的全員の点数入力後、「次の選手」をタップすると、エンドスコアが表示される。
5. 表示されたスコアと、紙のスコアカードの小計と累計を照合しておく。

TOKYO INDOOR OPEN 2023

大会情報ならびに速報記録配信

Ianse.net にアップロードされています

QRコードを読み取ってアクセスしてください



なお、アクセス先 URL は↓です

<https://www.ianseo.net/Details.php?toId=13045>